光風台小学校だより

平成 26 年(2014 年)夏休み号

夏休み

子どもたちには、待ちに待った楽しみな夏休みのことでしょう。朝早く起きて、学校へ行って、学習してというリズムが崩れると心配されている方も居られるかもしれません。「ずっと学校があったらいいのに」と思われる保護者の方も居られるかもしれません。ただ、ご自身の小学生時代のことを思い出してみてください。長い夏休みに得たものがあり、それが確かに自分自身の中に残っているのではないでしょうか。

朝早くからカブトムシやセミなどの虫取りをたっぷりできたこと、川で四つ網をしかけて魚をとったり水遊びを一日中できたこと、暑いからと家の風呂で水風呂にして遊んだこと、日が暮れるまで野球やサッカーをしたこと、友だちの家に泊まったこと、真っ黒に日焼けして海で遊んだこと、とった魚を食べたり畑の野菜を抜いてたべたこと、など、それぞれの夏休みにしかできない思い出をお持ちではないかと思います。こうした子ども時代の体験は、原体験として息づき、今の自身を支えています。これらのことは、毎日学校がある時にはできないこと、夏のような長期休みがあってことでことです。夏休みは、子どもたちが家庭や地域で育つ時と考えてくださり、しっかり遊んで貴重な原体験が宝物となって積み重なっていくことを願っています。

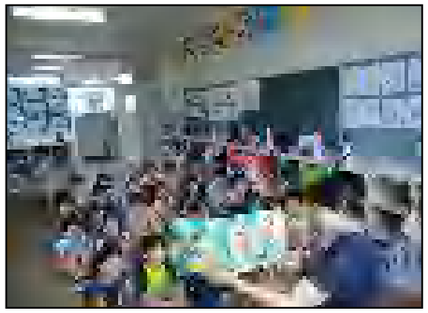
ご家族の皆さんで夏休みを元気に過ごされ、二学期の始業式にはたくましくなった子どもたちに出会うのを楽しみにしています。

一学期終業式　子どもたちのがんばりと皆様の支え

桜花が咲くも肌寒さの残る４月から、息をするのも蒸し暑い７月へ大きく季節が移り変わる一学期でした。６月後半から７月初旬は、コバエの大量発生で窓が開けられないという状態の日もありました。暑い教室の中で、授業を受けたり給食を食べたりして、よく子どもたちは過ごしてくれたことと思います。教育環境の充実のために、教育委員会にも連絡をとりながら対応しておりましが、異常発生するコバエに保護者の皆様もご懸念されていたことではないかと思います。

毎日教室を回っていくと、一生懸命に学んでいる子どもたちを見ると心が温かくなります。水温の低い時の冷たいプールでも、水しぶきをあげながら水泳をしている子どもたちを見ると子どもたちから元気をもらう気持ちになります。毎日毎日を、こつこつと学び続ける、このことを積み重ねてきた子どもたちは素晴らしいのです。子どもたちが生きて元気であることは、本当にありがたくうれしいことです。

また地域・保護者の皆様に、大変お世話になりました。安全見守り隊の皆様は、毎朝の登下校見守ってくださいました。保護者の方によるプールの陸上監視、太陽の照り返しきついプールサイドでずっと立っての監視はさぞ大変だったことでしょう。田んぼサポーターの方は、裸足になって田んぼの中に入り、顔まで泥だらけになって草取りをしてくださいました。畑サポーターの方は、シカよけネット張りや作物の支柱つくり・防鳥ネット囲みなどの畑作業をしてくださいました。低学年の子どもたちへは、絵本の読み聞かせをしてくださり、「子どもたちの真剣に聞いてくれる眼差しに元気をもらう」とおっしゃってくださいました。放課後たまり場活動では、子どもたちの放課後の居場所づくりを担ってくださいました。PTA の役員・各委員・特別委員（規約改正委）の方は、会議を重ね PTA 活動を支えてくださいました。



光風台小学校区青少年育成協議会（青育協）の皆さんは、子どもたちの行事などを企画くださっています。７月５日には「科学工作」教室を開いてくださいました。吉川中学校区地域教育協議会（地教協）の皆さんは、今は主に９月 13 日（土）のふれあいのつどいに向けて準備されています。また夏休み中は、青育協の皆様が毎週土曜日夜に「愛のパトロール」・「祭パトロール」として見守り活動をしてくださったり、ラジオ体操活動を運営くださったりされる予定です。子ども会の皆さんは、防災ベンチづくりを７月 21 日に、８月 31 日に落成会を予定されています。

このように、PTA の方・地域の皆様に、光風台小学校の子どもたちは様々なところで見守っていただきました。一学期が無事に終えられることができたのは子どもたちの頑張りと、保護者・地域の皆様のお蔭であると思います。御礼申し上げます。

「命」「平和」　人権集会のバトンリレーから

４年生が６月の人権集会で「生きているって素晴らしい」を発表しました。この地球にはたくさんの様々な生き物たちが生きていること、それらはひとつとして同じものはない。私たちもニンゲンとしての種は同じだけど、一人ひとりみんな違う命を生きている。保護者の方からも「お父さんお母さんは子どもが毎日元気でいるだけでも、とってもうれしい。」「あなたを産んだことが、私の一番の喜び。」とメッセージを子どもたちに投げかけていただきました。夢ややりたいことがあることは勿論素晴らしいけど、でも「生きているってことが素晴らしい」ことを子どもたちは感じてくれたようです。その４年生の発表を受け、全学年児童が自分のこととして考えてみました。「母が私を産んでくれて自分がいる。」「生きているからできる。」「死ねとか消えろとか言う言葉は、友だちがどれだけ傷つくのか・・」などの子どもの感想がありました。「ふわふわ言葉で、みんなの心もふわふわに！」を考える学習につなげる学年もありました。

６年生は７月の人権集会で修学旅行の報告をしました。ヒロシマで学び、戦争の悲惨さと平和の大切さを発表しました。これを受けて全学年児童が考えました。「命はちょっとしたことでもなくなってしまう。」「未来を生きる私たちが、戦争のない平和な世の中をつくっていかなければならない。」などの感想がでました。「私は、平和のバトンを忘れないようにしたい。」と受け止めたり、「平和ってなんだろう？へいわってどういう時？」とみんなで考えた学年もありました。

８月６日は平和登校日です。夏季休業中ですし、夏の一番暑い時でもあります。しかし、この日ヒロシマに原爆が落ち大惨事となった事実と、この暑い夏の日に、被ばくされた方の苦しみはどれほどのことだったことでしょうか。難しいテーマではありますが、戦争の悲劇さや平和の大切さについて学び、今の私たちは何ができるのだろうかなどと考える平和登校日にしたいと思います。

６年生がヒロシマ修学旅行で「命」「平和」について学んできたことが、全校児童にバトンタッチされていきます。二学期も「命」「平和」そして「人の気持ちがわかる」について取り組んでいきたいと思います。

光小トピックス

運動会について

運動会は 10 月 4 日 ㈯ 予定です

この数年の運動会における車両（車・バイク・自転車）の使用が増えていることや、場所取りに並ぶ時間が年々エスカレートして早くなっている現状があります。学校としてはテントの位置やフリースペースを設けるなどの工夫を検討していますが、保護者や地域の皆様にもお願いをさせていただくことになると思います。

詳細は二学期に説明いたしますが、今までより制限がかかったり、歩いていただいたりすることになることもあるかと思います。また運動場は大変広く、児童数が 300 人に満たない学校となりました。皆様のちょっとずつのご協力と学校の調整で、全体的に調整のとれる運動会にしたいと思います。

以上のことについて、どうかご理解ご協力をお願いいたします。

吉田 夏先生→別府 夏先生

養護教諭の吉田 ㈧旧姓㈩ 夏ですが、結婚により姓を変更しました。7月15日 ㈫ の全校朝会で、児童に別府夏養護教諭と紹介しました。よろしくお願いいたします。

ミストシャワーの設置.

「子どもたちのために」と、各小中学校にミストシャワーが設置されました。本校は運動場横の木立の中に設置したため、まさに森のミストという感じです。天気のよい休み時間にホースに水を流すと、子どもたちが集まってきました。「気持ちいい！」の歓声も。長いこと浴びて、髪の毛が水浸しになっている子どももいるほどでした。水の出しっぱなしやホースが道をまたいでいる点などから、ミストタイムは、業間と昼休みにして様子をみます。

7月の学校の様子

その①　児童会主催「ふれあい大会」(7月1日)

児童会の子どもたちが考えた「大玉ころがし＆玉入れ」でした。本年度は全校生が「赤組」「青組」「黄組」の3色に分かれます。

その各色のチームで大玉を転がして、玉入れ籠の有る所まで行き、玉を投げ入れて戻ります。低学年と高学年が協力しあって競技していました。

その②　示範授業＆研究協議会(7月1日)

筑波大学付属小学校の桂聖先生により、3年生の児童に国語科「モチモチの木」の示範授業を見せていただき、教職員が学びました。他地区からも参観が殺到し、１８０名もの教員の参観の中で示範授業は行われました。とても暑い中、180 名の見学者に囲まれ、体育館の教室で、授業を熱心に受けていた3年生の子どもたちの成長に目を見張りました。よくがんばりました。

その③　研究授業（5年1組）(7月3日)

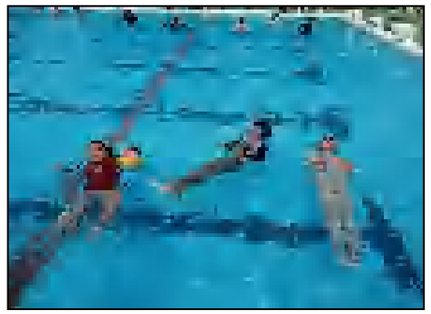
教員の授業力向上には、授業について研究したり、授業公開して他の教員から助言をもらうことが大切です。今回は、5年1組で国語の説明文教材「見立てる」の研究授業がありました。大阪府教育センターの寺井指導主事に講師をお願いして、事前授業研究と公開授業参観のご助言も賜りました。

その④　学校協議会(7月3日)

学校運営について、学校協議委員会で第三者評価とご助言をいただいております。第一回目は、5名の学校協議委員の皆様の委嘱、学校の学校目標と安全について、年間行事･学力向上プランなどについて協議いただきました。

その⑤　青育協主催「科学工作」(7月5日)

科学工作は二つ、「ペットボトル掃除機」と「人の入れるジャンボシャボン玉」作りでした。モーターが回るとなぜ吸い込むのかの原理を説明くださってからの工作。身体ごとすっぽりシャボン玉に入ってしまうわくわく感。楽しみながら科学を学ぶ講座でした。朝早くの準備から片付けまで、お世話になった青育協の皆様ありがとうございました。



その⑥　５年生着衣水泳(7月11日)

万が一、着衣のまま溺れることになったら、着衣水泳の体験があるかないかでは大きな差が出ることでしょう。着衣は肌にまとわりつき、水を吸って重く、思うように身動きがとれなくなります。力を抜いて、息が吸えるように浮いて命を長らえることを身につける着衣泳の学習でした。「服を着ているとバタ足をしてもぜんぜん進まない。」「服が重くて、うまく泳げない。」等の子どもたちの感想でした。

その⑦　豊能郡教職員組合主催映画会(7月16日)

夕方の体育館が映画館に、わくわくしながら子どもたちは集まってきました。「平和」を考える映画を、同組合が毎年上映しています。夕涼み会のようで映画を楽しんで、その中身を通して「平和」について語りあえるよい企画でした。